

地域が一体となった検討会を開催し、早期に事故対策を実施

目的	・死亡事故多発地点の解消
地域	島根県安来市 荒島町
成果	・地域住民と一体となって事故対策を検討したことにより、H16年の死亡事故から、半年の短期間で対策実施 ・対策後から現在(H17.12月末)まで、死亡事故は未発生
工夫	・地域住民と道路管理者および公安委員会による地域が一体となった検討会を開催
取り組み時期	平成16年度
取り組み主体	国土交通省 中国地方整備局 松江国道事務所



STEP1

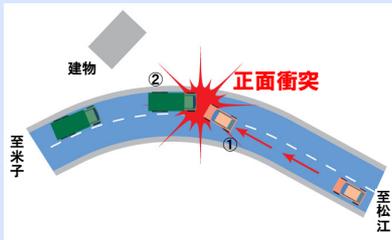
取り組みの背景は？

- ◆ 島根県安来市荒島町の国道9号では、平成15年、平成16年に、正面衝突によりドライバーが死亡するという痛ましい事故が連続して発生しました。現場は緩いカーブになっていますが、直線道路と錯覚する危険性があるため、地域住民から早急な対策が望まれていました。

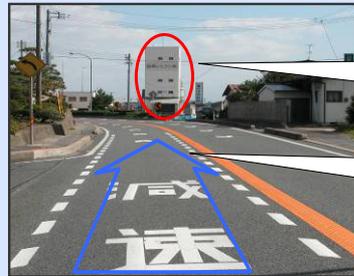
死亡事故の多発

【事故の状況】

上り車線走行中の車①が、センターラインをはみ出し、対向してきた大型車②と正面衝突。
(H15・H16年、2年連続で同一場所で死亡事故が発生)



【事故要因】



① 白い建物についで目がいってしまう

② 減速路面表示(破線)が直線的に続くように見える

直線道路のように見える

STEP2

取り組んだ内容は？

- ◆ 地域住民と道路管理者および公安委員会による地域が一体となった検討会を開催し、早期にできる対策から直ちに着手しました。

地域住民と道路管理者および公安委員会による地域が一体となった検討会の開催



【検討会意見】

- ・道路が消える感じがする
- ・防音壁のような壁を設置したらどうか
- ・大型車がセンターラインをはみ出してきて怖い 等

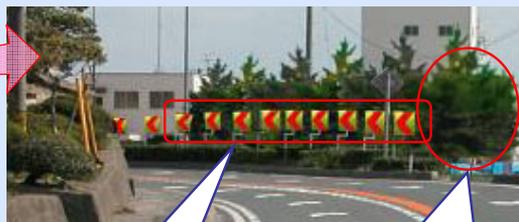
検討会終了後、
できる対策から直ちに着手

対策内容

【現在の対策状況:H17.3末】



破線のカーブ内まで延伸
(線形の視認度アップ)
【H16.12】



視線誘導標の増設
【H16.12】

白い建物を隠すための植樹
【H17.3】

STEP3

その結果は？

- ◆ 地域住民と一体となって事故対策を検討したことにより、地元の積極的な協力を得ることができ、H16年(直近)の死亡事故から、わずか半年の短期間で対策実施できました。
- ◆ H16.12月の対策後から現在(H17.12月末)までの時点で、死亡事故は発生していません。

対策効果

短期間で対策実施

地域住民と一体となって、検討したことで、地元の理解や協力を得やすく、短期間で対策を実施

死亡事故件数'ゼロ'!

対策後から平成17年末までの間、死亡事故は発生していません。

【通勤者の意見】

- ・事故が減ったことを実感しています。
(30代男性:米子から松江へ通勤)
- ・カーブが認識しやすくなりました。
(30代男性:米子から松江へ通勤)

STEP4

今後の取り組みは？

- ◆ 低コストで大きな効果が得られることから、類似箇所へ適用しています。
- ◆ 今後、住民アンケートを行い、対策効果の検証を行います。